

令和 8 年度各部局、各地方振興局の取組について

令和 8 年 4 月 2 4 日
ふくしま創生・人口戦略本部会議
(事務局：復興・総合計画課)

令和8年度人口減少対策関連主要事業の主なポイント(重点事業ベース)

人口減少対策関連予算

741億円

(昨年度比: +102億円)

若者や女性をはじめ誰もが活躍できる県づくりの実現に向け、出会い・結婚等の支援、地域への愛着形成、魅力ある職場環境づくり、移住・定住の推進など、自然減・社会減対策を両輪として、オール福島で人口減少対策に総合的かつ戦略的に取り組む。

自然減対策

出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

(拡充) オールふくしま出会い・結婚応援事業 (こども未来局) 458,592千円

- 出会い・結婚の希望をかなえるため、新たに、民間の婚活事業者と連携した大規模マッチングイベントの開催や結婚支援システム「はぴ福なび」の更なる利活用に向けた取組のほか、市町村、民間企業等と連携した婚活イベントの開催や共通の趣味等をテーマとした体験型の交流イベントを拡充するなど、若者のニーズを踏まえた出会いの機会の創出に取り組む。

(新規) 子育てエール事業 (こども未来局) 52,291千円

- 産後早期に県から子育て支援情報を提供し、育児の不安を和らげるとともに、医療機関等が提供するオプション等の費用を負担し、産後ゆったりと過ごす育児に前向きな気持ちになることができるよう支援する。

(新規) ずっと安心!産前産後サポート事業 (こども未来局) 49,816千円

- 遠方で出産や妊婦健診、乳幼児健診等を受診する方に対し医療機関等までの交通費等を助成し、より安心して出産できる環境を整備するとともに、助産師による相談支援や子育てサロンの実施、家庭訪問型子育て支援の普及を図り、妊娠から出産・産後まで一体的に切れ目のない支援を行う。

健康づくりの推進

(新規) ふくしま健活推進プロジェクト (保健福祉部) 124,529千円

- 県民の健康指標改善のため、メタボ・肥満該当者の割合改善を重点的に図ることを目的とし、「新たなふくしま健民アプリ」の活用や市町村等との連携を図りながら、自然に健康になれる環境づくりと運動・食事両面から個人の行動変容を促す事業を行う。

教育の充実

(新規) 地域と学ぶ小中学生の「探究的な学び」推進事業 (教育庁) 26,048千円

- 社会や地域とのつながりを醸成し、身近な地域に愛着を育むことを目的とし、「探究的な学び」を通じて児童生徒が主体的に地域社会に参画しようとするプログラムの開発、探究的な学び等でのデジタル学習基盤を更に有効に活用するための教員研修を行う。

(新規) 地域共創による高校生の探究的な学び推進事業 (教育庁) 59,418千円

- 地域との連携を深めた地域探究学習の取組を充実させるため、地域探究コーディネーターの増員や、連携を支援するポータルサイトの構築など、学校と地域・企業の連携体制を構築するとともに、生徒の探究学習の成果発信の場として「探究EXPO」を開催する。

(新規) 未来へつなぐ猪苗代湖交流学习推進事業 (生活環境部) 31,703千円

- 猪苗代湖について学び体験する機会を創出し、県内の小中学生等が猪苗代湖での環境学習を通して、福島 naturally の誇りを実感し、地域への愛着を育むとともに、未来を担う子どもたちが自然との共生や地域資源の大切さを学ぶことで、将来の福島を支える人材を育成する。

誰もが活躍できる環境づくり

ともに輝くふくしまライフスタイル推進事業 (生活環境部) 35,961千円

- 「固定的な性別役割分担意識」を解消するため、職場や家庭における令和時代の生活様式への理解増進及び意識啓発を実施し、誰もが個性や能力を十分に発揮し活躍出来る社会の実現を目指す。

社会減対策

魅力ある職場づくり、若者の定着・還流促進

(拡充) 『感動!ふくしま』プロジェクト (商工労働部) 917,528千円

- 人手不足が顕在化している県内企業の人材確保を図るため、「県内企業やふくしまで働く魅力の発信」、「小中学生から社会人までの各世代向けの気づき・体験機会の提供」、「就職に向けたマッチング支援」、「魅力ある職場づくり」を総合的に展開する。

女性活躍・働く世代の健康づくり推進事業 (保健福祉部) 78,729千円

- プレコン出前講座等の各種セミナーを通じて県内事業所における女性の健康づくり等のヘルスリテラシー向上を図ったうえで、女性の健康づくりや働きやすい職場づくりに取り組む事業所に対し、奨励金の交付やメディア等を通じた広報などを行う。

産業振興

(新規) 中小企業「賃金UP」応援事業 (商工労働部) 454,691千円

- 企業に対し、生産性向上計画の策定・実施など生産力向上に向けた専門家による伴走支援や経費支援を行うとともに、企業の価格交渉力等向上にむけたセミナーの開催や伴走支援、事業者・消費者双方の理解醸成を図るための広報等の実施により価格転嫁を促進し、企業の稼ぐ力の向上を支援する。

福島県地方大学・地域産業創生プロジェクト (商工労働部) 981,928千円

- 県、福島大学、県内企業の産学官が連携してバイオマス由来水素・炭化物製造システムの研究開発を始めとした水素関連技術の研究開発や人材育成に関する取組を行うことで、県内企業の水素関連技術の向上と高度人材育成を図る。

(拡充) ふくしま型農業DX推進事業 (農林水産部) 321,014千円

- 作業効率の向上に資するスマート農業技術の実証から普及、情報発信、人材育成、広く活用できる仕組みづくりに至る総合的な取組を行い、農業DXを推進することで、経営の規模拡大や安定化を図るとともに、経験が浅くても農業に取り組むしやすい環境を整え、新規就農者の確保につなげる。

(新規) 建設産業の魅力・やりがい創出支援事業 (土木部) 57,000千円

- 業務効率化や生産性向上、バックオフィス導入など、デジタル活用により働き方改革を推進するとともに、重機疑似体験等の魅力発信により、建設産業における担い手となる若者・女性の人材確保につなげる。

移住・定住の促進

(新規) ふくしま関係人口拡大・深化プロジェクト (企画調整部) 35,523千円

- 関係人口受入体制の整備、県・市町村・民間団体等による多様な関係人口拡大の取組の一元的な情報発信等により、地域おこし、農業、ワーケーション、移住体験など様々な切り口から関係人口の創出・拡大、関係性の深化につなげる。

ふくしま若者Uターン促進プロジェクト (企画調整部) 35,000千円

- 首都圏に在住する本県出身の若者を対象とした大規模交流会等の開催やオンラインコミュニティの運用等により、本県と関わる機会の提供やUターン潜在層におけるコミュニティの形成等を図り、福島県との関係性の深化及び将来的なUターンを促進する。

「企画調整部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

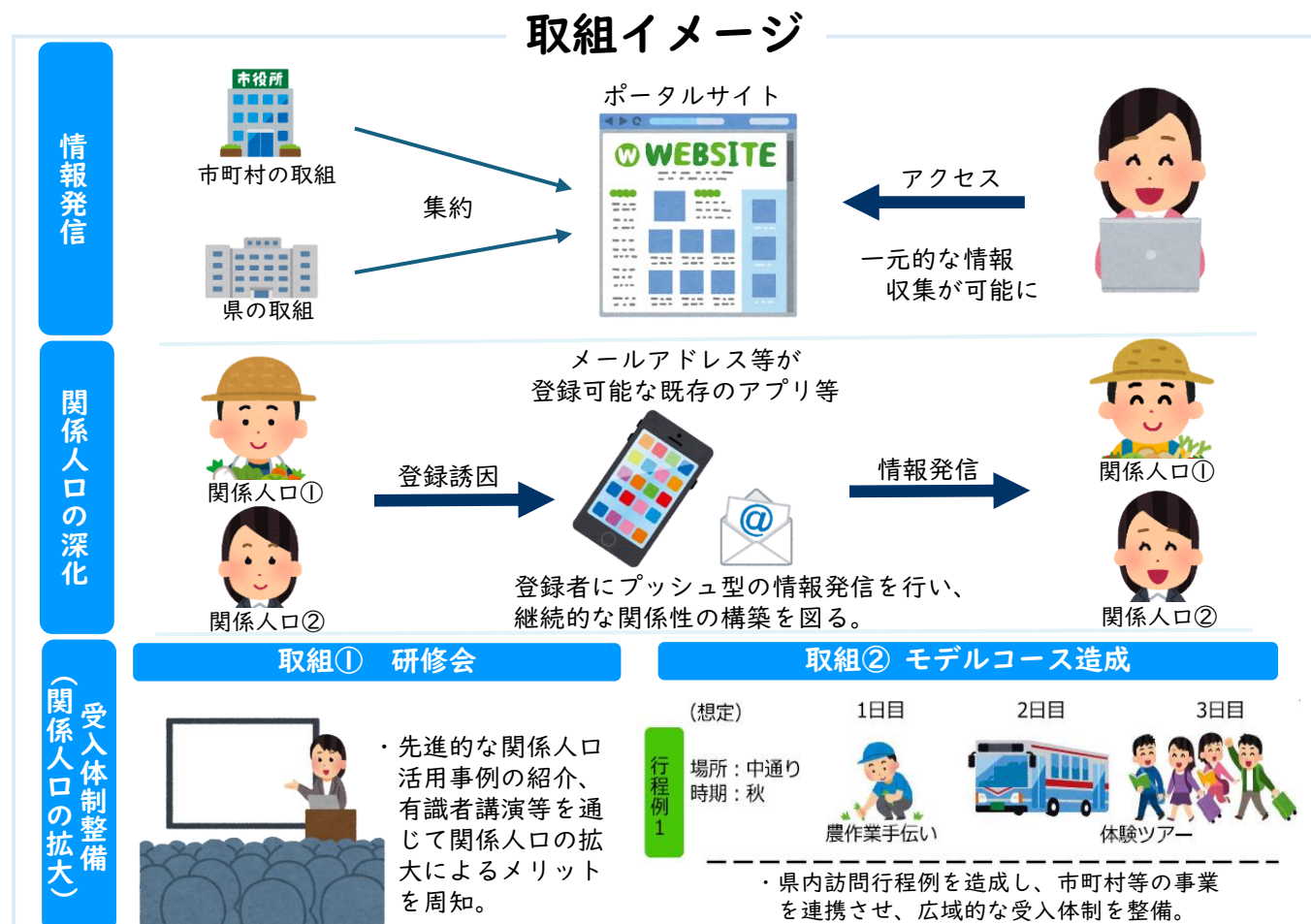
- 社会減対策の一環として、関係人口の創出・拡大を図るため、各部局や市町村等が実施する交流イベント等の情報を一元的に集約して発信するポータルサイトを構築する。また、人口減少社会への適応の観点から、会津大学や市町村DX推進専門官等の外部人材を活用した市町村への支援により、地域や行政におけるDXを推進する。

企画調整部の代表的な取組

ふくしま関係人口拡大・ 深化プロジェクト

ふくしまぐらし推進課

県・市町村等が行う交流事業の情報等を集約したポータルサイトを構築し、一元的な情報発信を行うとともに、市町村等を対象に新たな交流事業の創出に向けた研修会を開催するなど、関係人口の受入体制の強化を図る。



「総務部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 復興と地方創生を一層推進するための予算を編成。
- わかりやすい情報発信に向け、県公式Webサイトの再構築に取り組む。
- 市町村等と連携しながら福島の正確な情報や魅力を発信するなど、「伝わる広報」を推進。
- 県庁における働きやすい職場づくり、人口減少を始め、地域課題の解決に取り組む市町村の支援に努める。

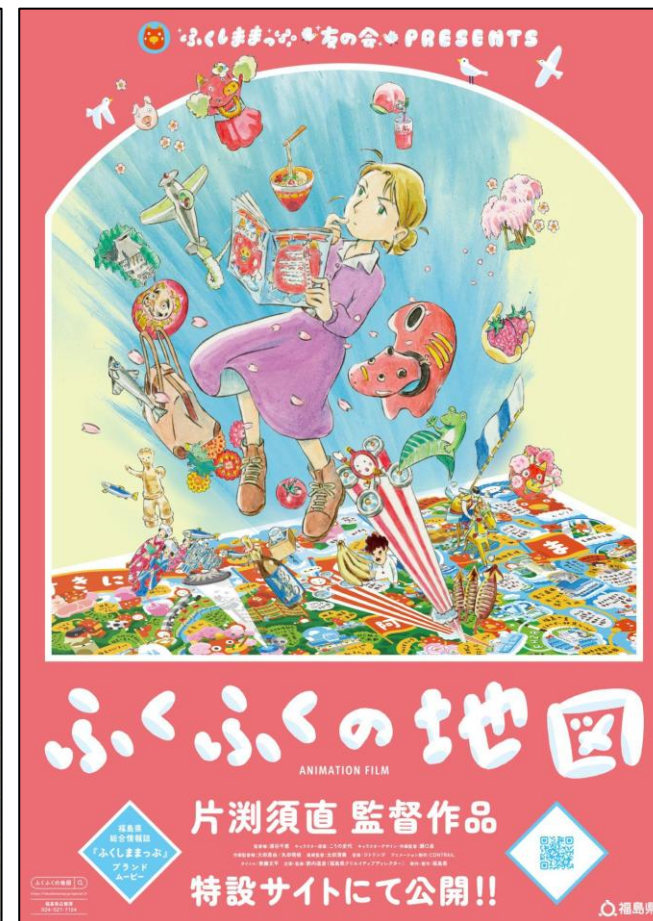
総務部の代表的な取組

チャレンジふくしま

戦略的情報発信事業

広報課

根強く残る風評の払拭と時間の経過とともに加速する風化の防止を図るためには、本県への関心を高め、イメージの向上に取り組むことが重要であることから、関係部局や市町村、企業等との連携・共創により、復興のあゆみを進める本県の姿や観光、県産品等の魅力を国内外に向けて戦略的に発信する。



「危機管理部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 「あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らし」の実現に向け、頻発化・激甚化する自然災害に対応するため、県民の防災意識の向上を図るとともに、防災行動計画の策定を進めて「自助」「共助」「公助」の更なる連携強化を図る。加えて、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取り組みを厳しく監視する。

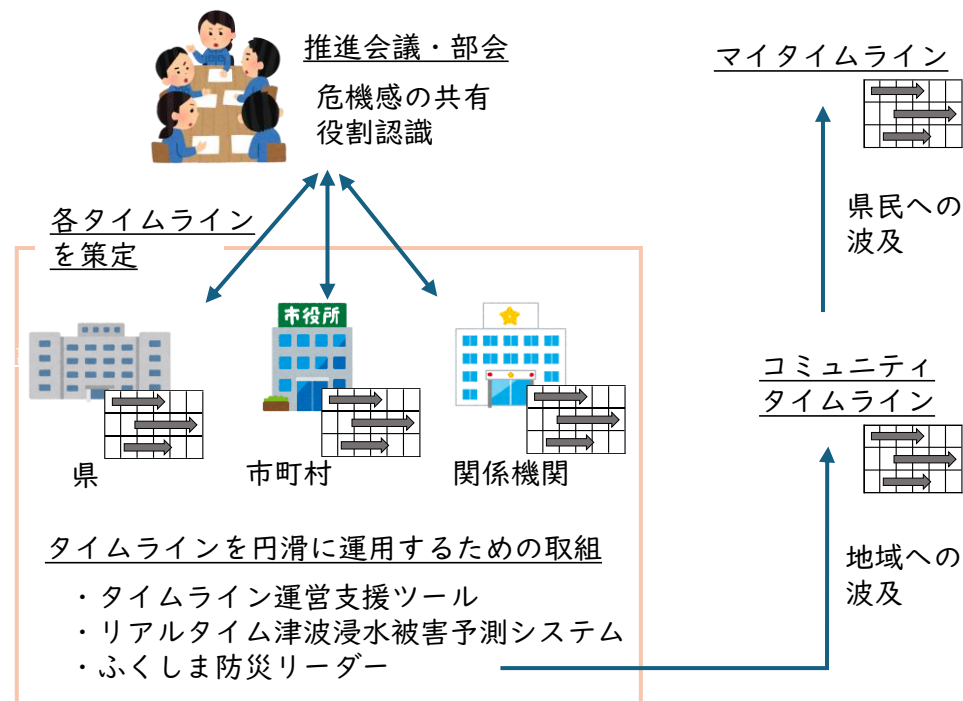
危機管理部の代表的な取組

防災行動計画促進事業

災害対策課

頻発化・激甚化している自然災害に備えるため、災害の種別ごとに各機関の防災行動を時系列で整理した防災タイムラインを策定し、関係機関との連携を強化するとともに、迅速かつ適切な災害対応につなげる。

取組イメージ



「生活環境部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消を図るため、「とも家事」の実践拡大を企業と連携したイベントやキャンペーンにより展開するほか、職場や地域における気づきと行動変容を促すセミナーを開催する。

生活環境部の代表的な取組

ともに輝くふくしま ライフスタイル推進事業

共生社会・女性活躍推進課

固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消に向け、「とも家事」の実践拡大に取り組むとともに、アンコンシャス・バイアスへの気づきと行動変容を促すセミナーを開催する。



「とも家事」ステージイベントなど



アンコンセミナー(企業、団体、学校)

「保健福祉部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 令和8年3月にリニューアルしたふくしま健民アプリを活用し、企業や市町村と連携しながらアプリの周知・広報に取り組むとともに、楽しみながら健康づくりに取り組むことのできるイベントを開催し、県民の健康指標の改善を目指す。

保健福祉部の代表的な取組

ふくしま健活推進プロジェクト

健康づくり推進課

令和8年3月にリリースした新たなふくしま健民アプリを用いて楽しみながら健康づくりに取り組み、県民の健康指標の改善を図ることを目的とする。

健康無関心期から維持期まで、さまざまな利用者が自然と健康意識の向上や行動変容を図ることに寄与していく。



「商工労働部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 『感働！ふくしま』プロジェクトを、県内の「しごと」や「働くこと」に対する総合的な取組として進化させ、「若者に届く」情報発信の強化、若者の気づき・体験機会の創出、就職マッチングの支援、魅力ある職場づくりの推進に取り組む。

商工労働部の代表的な取組

『感働！ふくしま』プロジェクト (魅力ある職場づくり事業)

雇用労政課

人口減少が進み、若者、特に女性の県外流出が顕著な本県において、若者に「選ばれる」働く場を創出するため、企業の働き方改革や女性活躍に向けた意識改革、奨励金や助成金による職場環境整備、キャリアアップ支援、認証・表彰制度を組み合わせて、総合的に推進する。



イメージ：渋谷レックス(株) (福島市)

「農林水産部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

○ 移住就農者等の生活・技術支援や新品目導入など新たな挑戦を後押し、また、スマート農業や企業の参入を促し、担い手の確保・育成を図る。さらに、若者や女性の参画や関係人口創出により移住就農に繋げ、農山漁村の持続的発展を目指す。

農林水産部の代表的な取組

新風を吹き込む！ チャレンジ農業者応援事業

農業担い手課

これまでにない新品目や新技術の導入、新ビジネスなどにチャレンジする農業者を応援することにより、地域を支える担い手の経営発展や多様な担い手の確保につなげる。

支援イメージ

事業名	チャレンジ農業者応援事業	新ビジネス等チャレンジ応援事業	企業等農業参入支援事業
支援内容	<p>○県内（地域内）で初めて取り組む新品目や新技術の導入等へのチャレンジを支援する。 【イメージ】</p>  <p>気象変動に対応した品目への挑戦</p>  <p>きゅうりの蔓下し栽培等の新技術</p>  <p>片屋根新型ハウス栽培</p>  <p>新品目の切り花等への挑戦</p>	<p>○地域内に実績はあるものの、品目転換など個々の経営にとって大きなチャレンジを支援する。 【イメージ】</p>  <p>新規就農者（就農6年目以降10年未満）による新たな経営品目の導入など</p>  <p>認定農業者による経営品目の大幅転換など</p>	<p>○企業等による農業参入に向けた取組を支援する。 【イメージ】</p>  <p>県内の他産業から農業分野への参入</p>  <p>県外の農業法人が県内への農業参入</p>
補助対象者	認定農業者、認定新規就農者（予定を含む）、任意組織（農業者で構成し、規約があり活動実績が1年以上の組織）等	認定農業者による経営品目の大幅転換など	新たに農業分野に参入する企業、県外の農業法人
対象経費	研修旅費、専門家への謝金、種苗費、機械リース料、作業委託料等		農業機械等リース料、資材費、謝金、土壌改良、簡易な排水対策等
補助率（上限額）	10/10以内 (300万円)	1/2以内 (150万円)	1/2以内 (400万円)

「土木部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- デジタル活用による業務効率化や生産性向上を進め、働き方改革を推進するとともに、重機シミュレーター体験などのイベントを通じて建設産業の魅力を発信し、若者や女性の人材確保を図る。また、県営住宅の空き住戸を活用したお試し住宅の提供や子育て世帯等の住宅取得支援により、移住・定住や二地域居住の促進に取り組む。

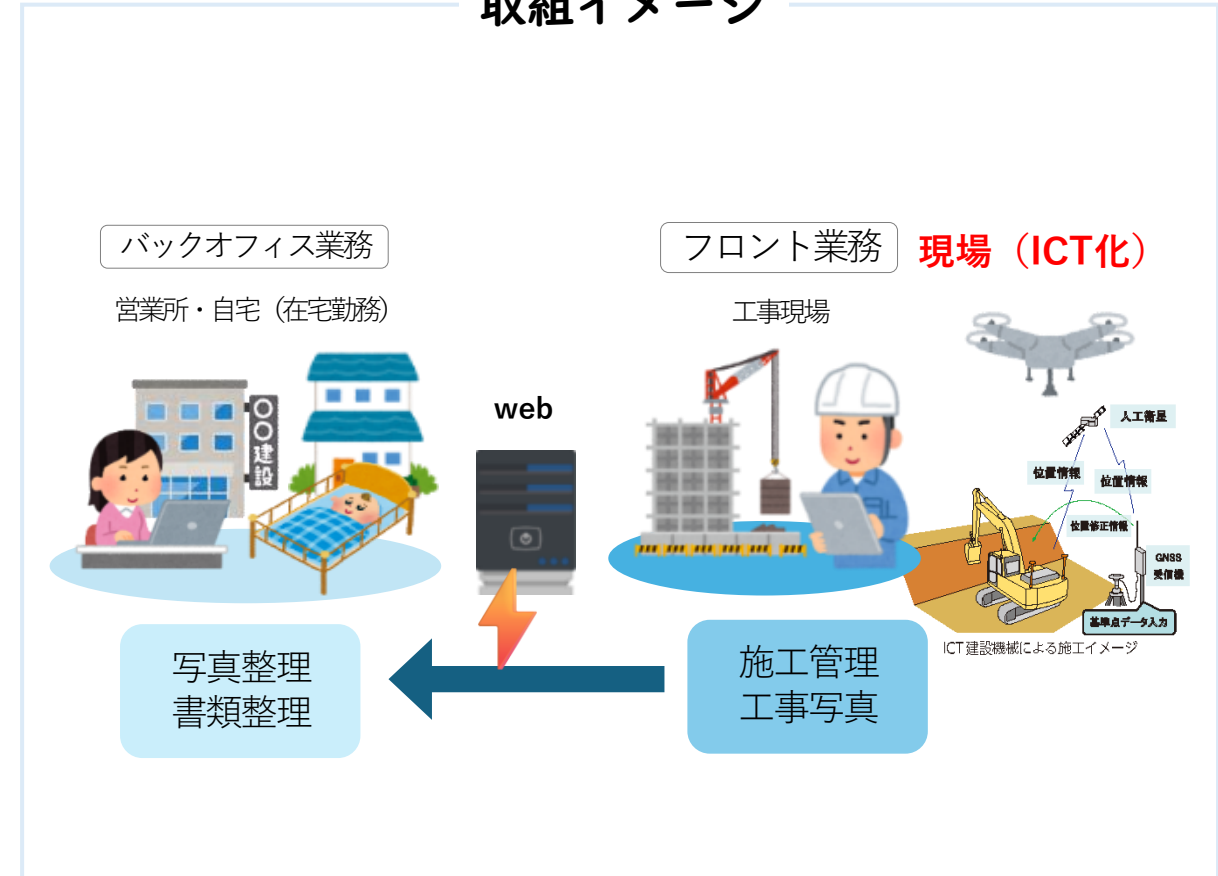
土木部の代表的な取組

建設産業の魅力・ やりがい創出支援事業

土木企画課、技術管理課、建設産業室

バックオフィス導入やデジタル技術の活用により、業務の効率化や生産性の向上を図り、働き方改革を推進するとともに、重機操作の疑似体験等を通じた建設産業の魅力発信により、担い手となる若者・女性の人材確保につなげる。

取組イメージ



「避難地域復興局」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 避難地域の居住人口拡大に向け、帰還のみならず、更なる移住人口の増加を図ることを目指し、ふくしま12市町村移住支援センターを中心に、移住関心層への情報発信や移住体験ツアー、セミナー、大規模イベントを行うとともに、民間団体等と連携した地域の文化や暮らしを直接体感できる機会の提供など、交流・関係人口の拡大を進める。

避難地域復興局の代表的な取組

避難地域への移住促進事業

避難地域復興課

ふくしま12市町村移住支援センター東京サテライトの設置等情報発信の強化、移住体験ツアー、セミナー、首都圏交流イベントの開催などに取り組むほか、移住者の地域への定着促進に向けた取組を実施。

移住体験ツアー（乗馬体験）



「文化スポーツ局」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 2026年及び2027年の2回にわたり開催する「大ゴッホ展」を契機に、県内の美術館等を周遊するミュージアムラリーと、本県ならではの自然、歴史・伝統文化、食などの「ふくしまアート」を楽しみながら歩いて巡るアートウォーキングを組み合わせ、本県の新たな魅力を発見・発信するなど、若者定着や交流人口の拡大に取り組む。

文化スポーツ局の代表的な取組

ふくしまアート新発見事業

文化振興課

2026年及び2027年に開催される大ゴッホ展に向けた機運を醸成するとともに、県内にある美術館や博物館などを気軽に訪れ、直接アートに触れる機会を創出することにより、アートを通してふくしまの新たな魅力を発見し、潤いのある心豊かな暮らしの実現を図る。

- ふくしまミュージアムラリー事業
(県内の文化施設を周遊するデジタルスタンプラリー)
- 公募展覧会及び受賞作品巡回展
(小中高校・専門大学生対象のゴッホ関連絵画作品募集)
- 専門家による大ゴッホ展記念講演会
(多くの県民が美術鑑賞や文化活動に参加できる機会の創出)

ふくしまアートスタンプラリー

美術館や博物館だけでなく、伝統工芸や歴史の街歩き、四季折々の自然すべてが「アート」！
福島県の魅力がたっぷり楽しめるデジタルスタンプラリーです。
ミュージアム、ウォーキング、夜のスタンプラリーを楽しみましょう！

スタンプラリーの
期間
2026年2月21日(土)～5月10日(日)

ミュージアムスタンプラリー
県内80か所の美術館・博物館・歴史資料館などからスタンプを集めよう！

アートウォーキングラリー
福島県内の50か所のアートスポットを、ウォーキングしながら集めてスタンプを集めよう！

楽しみ方もいろいろ、スタンプを貯めて素敵なプレゼントをゲットしよう！

- ミュージアムコンプリート賞(ゴッホグッズセット) 抽選で5名様
- ウォーキングコンプリート賞(ふくしまの良ギフトセット) 抽選で5名様
- フルコンプリート賞(福島宿泊券30,000円分) 抽選で5名様

ふくしまアートスタンプラリー事務局
〒960-0001 福島県福島市大町1-1-1 福島県庁4階
TEL.024-221-8070

大ゴッホ展
2026年2月21日(土)～5月10日(日)
会場
福島県立美術館(福島市森田町1-1)

大ゴッホ展実行委員会
(協賛) 福島県 福島県庁 福島県教育委員会 福島県観光振興局
(主催) 福島県立美術館(福島市森田町1-1)

ふくしまアートスタンプラリー事務局
https://www.fukushima-art-stamp-rally.jp/

ふくしまアートスタンプラリー事務局
https://www.fukushima-art-stamp-rally.jp/

「こども未来局」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

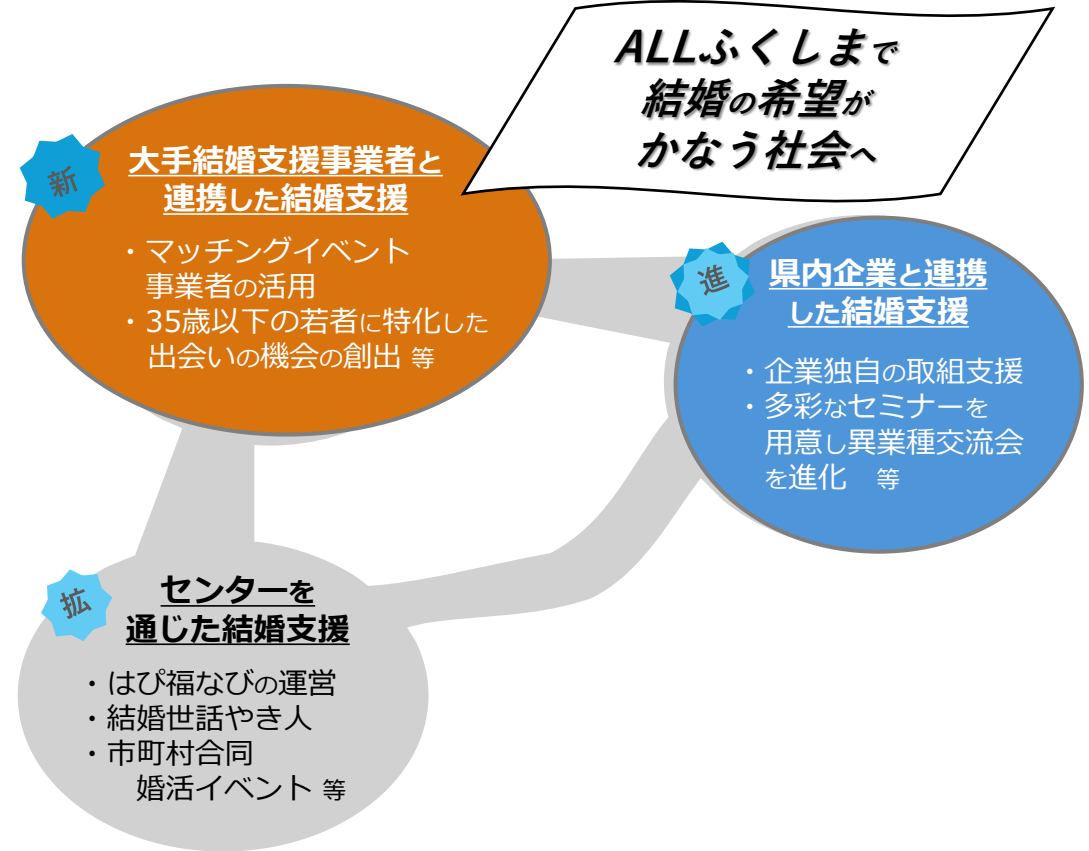
○「出会い・結婚」についての取組を強化するため、若者のニーズを踏まえた大規模マッチングイベントや、若者の自然な出会いを促進する福島ならではの観光資源を活用したツアー型のイベントを開催する。また、「はぴ福なび」の39歳以下の方の登録料無料化など、若い世代の希望に寄り添った施策を積極的に展開する。

こども未来局の代表的な取組

オールふくしま出会い・結婚応援事業

こども・青少年政策課

大規模マッチングイベントの開催や、市町村や民間企業と連携した共通の趣味等をテーマとする体験型の交流イベントの拡充のほか、「はぴ福なび」の更なる利活用に向けた取組など、出会いの機会の創出の充実に取り組む。



「観光交流局」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 「ふくしまDC」を通じて観光事業者や市町村等と連携し、自然、温泉など地域の宝をいかした300超の特別企画を始め、酒・味噌・醤油祭りや特別列車等を展開し、より多くの方に本県の魅力と「ふくしまの今」を体感いただき「しあわせの風」を感じていただく。

観光交流局の代表的な取組

観光関連団体連携推進事業

観光交流課

「福が満開、福のしま。」福島県観光復興推進委員会、ふくしまDC実行委員会として、国内外に向けて、本県ならではの魅力発信とプロモーションを実施するとともに、イベントの開催、旅行商品助成等による誘客促進のほか、地域の観光団体を支援する等、官民一体となって、ふくしまDC（アフターDC）を通じた取組を重層的に展開し、本県のイメージアップと郷土愛の醸成、経済の活性化を図る。



「病院局」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 県民が県内のどの地域においても安心して生活できるよう、政策医療の提供により地域に必要な医療の持続的な提供など県立病院の役割を果たしていく。
- 双葉地域における中核的病院の整備及び宮下病院の建替え・移転を着実に進める。

病院局の代表的な取組

地域に必要な医療の持続的な提供

病院経営課

- 政策医療を担う県立病院として果たすべき役割を中心に置き、地域に必要な医療を持続的に提供していく。

【果たすべき役割】

- ・ 中山間地域における政策医療の提供
- ・ 先進的な精神科医療の提供
- ・ 復興を支える医療提供体制の確保

取組イメージ

中山間地域における政策医療の提供

南会津病院

宮下病院

地域医療の確保

地域包括ケアシステムの構築支援

先進的な精神科医療の提供

ふくしま医療センター
こころの杜

精神科医療の確保

地域生活支援の充実

復興を支える医療提供体制の確保

ふたば医療センター

附属病院

ふたば復興診療所

復興を支える医療の確保

地域包括ケアシステムの構築支援

「教育庁」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 子どもたちが地域の魅力や課題に触れ、地域への愛着や自己有用感を醸成することで、若者の定着・環流につながるよう、地域と学校が連携する体制を整備するほか、県立高校の魅力化・特色化に取り組む。
- また、探究学習の成果を広く発信・共有し、企業や自治体等の様々な主体が交流することで、さらなる連携・共創につなげる。

教育庁の代表的な取組

探究的な学び推進関連事業

義務教育課・高校教育課

- ・ 「探究的な学び」の充実を図るカリキュラムの開発（小中学校）
- ・ 地域探究コーディネーターの配置による学校と地域等の連携強化（高校）
- ・ 探究ポータルサイトの活用、探究学習の発表会等を通じた好事例の横展開（高校）

取組イメージ



高校生による地域課題探究学習

「警察本部」における令和8年度の地方創生・人口減少対策に関する取組

- 令和7年中における県内の刑法犯認知件数は、前年比では減少したものの、最少を記録した令和3年以降、増加傾向にあり、特に匿名・流動型犯罪グループが関与する特殊詐欺事件の発生件数、被害額が増加している。
- 取締りのほか、タイムリーかつ戦略的な情報発信等により、県民の安全確保に資する活動を継続して実施する。

警察本部の代表的な取組

県民を詐欺等から守る総合対策事業

警察本部生活安全部生活安全企画課

被害に遭わない環境を構築するための対策

- 1 タイムリーかつ最新情報の発信
アプリによる注意喚起、最新情報へのアップデート
- 2 各種媒体を利用した広報啓発事業
テレビコマーシャルのスポット放送、見出しバナーによる詐欺に関する先制的な啓発
- 3 闇バイト関与の犯罪被害に遭わないための防犯カメラ設置事業
自治組織等が防犯カメラを設置する際の補助金交付等



動画、CMイメージ



補助事業で設置した防犯カメラ

令和8年度 地方振興局 の取組

1 大学生×ふくしま県北魅力体験事業



県北の暮らし・働き方を体験し、地域で活躍する方との交流機会を設ける体験ツアーを実施。
体験ツアーの企画、運営には県内大学生が参加。

2 県北で進める！働き方改革促進事業



商工会等と連携し、企業等への7か月程度の長期伴走支援を実施。
成果報告会を開催し、企業に働き方改革の浸透を図る。

7 若者×企業キャリアリンク事業



高校2年生を対象とした地元企業へのインターンを実施。
企業情報やインターンの申込みできるWebサイトを構築しマッチングを支援。
県外に進学した大学生等を対象に、企業の情報発信、交流会、アフターフォローまで一貫して支援する。

8 ゆるっとめぐり会津プロジェクト



会津地域を中心とした男女の交流イベントを複数回実施。
会津の魅力を一緒に感じることでできるコンテンツを盛り込み、男女の出会いの場を創出。

9 会津地域「つながるDX」推進事業



会津大学やAicitと連携し、人口減少時代の自治体DXのモデルとなる取組を展開。
市町村が抱える課題について、会津大学学生等と連携して解決を図る。

10 南会津「ワカモノ」ピッチ事業



南会津地域の若者や女性が考える「人口減少対策」等に係る取組を募集し、ピッチイベントを開催。
採択された優秀案を事業化し、新たな価値観の浸透や定着・還流の促進を図る。

11 コネクト・みなみあいづ！プロジェクト



体験×宿泊のモデルコースの造成やドローン空撮コンテスト等の新鮮な体験による誘客を図る。
「ふるさとワーキングホリデー」を活用し、若年層の関係人口創出と人手不足解消を目指す。

12 南会ドローン中学校



操縦士の育成や国家ライセンス取得を支援。
ドローン活用アイデアを公募し、ドローン活用事業を最大4事業実施。
広域連携会議で活用方策を検討。

3 ケンチャーワーク促進事業



中高校生を対象に、企業等と連携したライフキャリア教育を実施。
大学生を対象に、ロールモデルとなる社会人との交流授業を実施。
企業の課題や働き方を県外大学生が分析、提案し課題解決を図る。

4 県中地域ときめき出会い創出事業



大学生のフィールドワークを誘致し、企業や市町村と連携して調査を行い、調査結果の地域への還元を図る。
企業の若手社員を対象に業種を超えた出会い創出ツアーを開催する。

6 しらかわプライド醸成事業



若者が地域の魅力について考えるワークショップ等を開催。
県南地域の仕事体験ツアーを実施(小中学生向け)。
県南の仕事の魅力を体験できる取組の開催(高校生向け)。



13 「相双にまたたくなる」交流人口拡大事業



「相馬野馬追」の体験や馬事文化を守る人々との交流を図り、誘客を促進。相双地域ならではの体験を通じて新しい旅の魅力を発信。

メディアを通じた「あぶroma」の魅力発信と連動した周遊促進を実施。

14 相双地域人材確保支援事業



相双管内の高校1年生を主な対象とした地元企業紹介イベント、県内大学生向けに見学会などの相双地域の企業を知る機会を提供。

15 『若者・女性に伝わる』企業の魅力発見・発信事業 #いわき



社内の雰囲気などを若者女性の視点で伝えるSNS動画を作成、発信。
若者、女性と企業が気軽に意見交換を行える機会を設ける。

若者・女性に伝わる情報発信のノウハウを共有するセミナーを開催。

16 女性が輝く「いきいきわーくいわき」事業



女性の就業状況や女性活躍に関する取組状況等について調査を実施。
アンケート調査を踏まえ、専門家を派遣し、課題解決を支援。

女性活躍推進セミナーを開催し、専門家派遣の成果等を企業に幅広く共有。

5 来て、関わって、働いて、しらかわ事業



しらかわに特化した就職情報の発信などを実施し、「転職・仕事」を契機とした移住を促進。
滞在型の短期就業を提供し、ファンづくりと継続的な関係人口の創出を図る。

1. 【県北】大学生×ふくしま県北魅力体験プロジェクト

県北地域の課題

- 県北管内は、転出超過が続いているが、特に就職期の若い世代（20～24歳）の転出割合が高止まりしている。
- 県北管内への移住者数が令和6年度も過去最多（662人）を更新しているが、増加幅が小さくなっている。

新規・一部新規 **継続**

ひと・暮らし・しごと **人の流れ**

連携・共創の視点及び取組の独自性 **産・官・学・金・労・言・士**

- 若者の視点を反映させたツアーを構築し、首都圏等から人を呼び込む。
- 大学生が県北地域の魅力に触れ、地域プレイヤー等と交流することで、県北地域の理解促進及び愛着形成につなげる。

〈アウトプット目標値〉
ツアー参加者：24人
運営サポーターズ：15人

取組の内容

ふくしま県北魅力体験ツアー

運営サポーターズ

体験ツアーのスタッフとして運営側から参加し、体験ツアーの企画・立案に若者の視点を反映させる。

- 対象▶管内大学生
- 人数▶15名程度
- 内容▶事前WS開催
 - ▶企画・立案
 - ▶ツアー同行
 - ▶地域との交流
 - ▶SNS情報発信



反映

体験ツアー

本県へ移住を検討している方等を対象に県北の魅力や暮らし・働き方を体験し、地域で活躍している方との交流の機会を設ける1泊2日のツアーを実施する。

- 対象▶首都圏等在住者
 - ▶本県に興味・関心がある
 - ▶県外在住者
- 人数▶24名程度
- 内容▶管内8市町村
 - ▶サポーターズも参加・交流



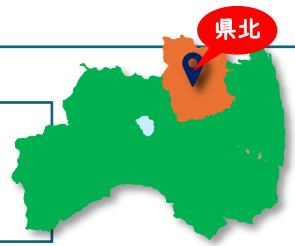
〈大学生作成のショート動画〉

- SNSでの情報発信 ▶当日の様子を運営サポーターズが撮影
- ▶SNSで発信

- ### 取組のポイント
- 1 「大学生ならではの」の自由な発想を最大限引き出す
 - 2 大学生の感性をいかして県北地域に「新しい光」を当てる
 - 3 「県北ならではの」の季節感を体験する機会の創出

当事業で目指す姿

ツアー参加者の県北管内への興味・関心を高めることで関係人口の拡大、移住者の増加を図るとともに、大学生が地域の魅力に触れることで、管内への定着・還流につなげる。



2. 【県北】 県北で進める!働き方改革促進事業

県北地域の課題

- 産業の担い手である新規高卒者の県内就職率は県平均より高いものの、卒業生数の減少に伴い、就職人数も減少している。
- 若年層が県内企業に求める条件と企業の女性活躍やWLB確保に向けた取組を比較すると、柔軟な働き方の導入が進んでいない。

新規・一部新規・**継続**

ふれ・暮らし・
しごと 人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

企業との信頼関係が構築されている商工会・商工会議所（以下、「商工会等」）と連携することにより、働き方改革の裾野を広げ、企業の積極的な取組を引き出すことができる。また、経営指導員等による継続的な支援や、伴走支援対象以外の企業への働き掛けも可能となる。

〈アウトプット目標値〉
支援企業数：3社
商工会等への周知：13商工会等

取組の内容

伴走支援の実施・成果報告会の開催

○伴走支援

商工会等からの推薦企業3社に対し、それぞれ6か月程度の長期伴走支援を実施する。
※商工会等への取組内容共有や伴走支援同行により、経営指導員等の企業支援ノウハウ習得の一助とする。



○成果報告会

商工会等の協力を得ながら、会員企業等に向け伴走支援の取組内容及び定量的な成果の報告会を開催する（オンライン併用）。
※R7年度の取組事例とあわせ、HP等で周知する。

取組のポイント

- 1 商工会・商工会議所との連携
- 2 個別具体的な伴走支援
- 3 定量的な成果報告による波及効果

当事業で目指す姿

管内企業の働き方改革を促進し、柔軟な働き方の導入など様々な立場の人が働きやすい職場環境を整えることにより、若者に選ばれる企業の増加を目指す。



3. 【県中】ケンチューワーク促進事業

予算額（10,000千円）

県中地域の課題

新規・**一部新規**・継続

ひと・暮らし・**しごと**人の流れ

- ・ 県中地域には国内外で活躍している企業や国内最先端の研究機関等も立地するが、知らないまま県外へ進学・就職する学生も多い。
- ・ 県中地域は人口流出が続いており、特に若年層や女性の県外転出が多く、地域産業は人手不足の状況である。

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

県中地域ならではの支援機関、研究機関、企業や、県中地域に多く立地する高等学校、大学と連携し、若年層に県中地域の産業を含む魅力を周知し、県内就職を促進する。

〈アウトプット目標値〉

- ①参加者：300人
- ②参加者：200人
- ③参加者：40人

取組の内容

①産学官連携による キャリア探求事業

中・高校生を対象として、**先進的な企業や研究機関と連携した出前講座、探求授業、ライフキャリア教育**を実施。将来的なUターンを促進する。



②大学生×社会人 未来トーク事業

大学生を対象として、**ロールモデルとなる社会人との交流授業**を実施。県内で働く自分の姿を想像する機会を提供し、県内就職を促進する。



③若者・女性の多様な働き方 促進事業

企業の課題や働き方を県外大学生が分析・提案し課題解決を図る。県内外の若年層へ情報発信し、県内就職やUターンを促進する。

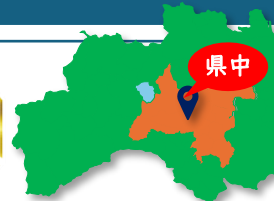


取組のポイント

- ① 若年層への切れ目ない対策
- ② 県中ならではの企業等と連携
- ③ 県内外の若年層に企業の魅力を発信

当事業で目指す姿

県外流出が顕著な年代を対象に、県中ならではの企業等への理解を深めるとともに、企業の魅力を向上させ、県内外の若年層へ周知することで県内就職につなげる。



県中地域の課題

新規 **一部新規**・継続

ひと・暮らし・しごと **人の流れ**

- ① 県中地域は、県内で最も多い人口規模を有する (R7.1.1)が、若年層の転出者数が多く、少子高齢化により地域産業やまちづくりの担い手不足が深刻。
- ② 県内若手社会人を対象としたアンケートによると、出会いや結婚への意欲は高いが、社会人同士の繋がりを形成する機会が不足。

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

- ① 広域的な地域課題に対し、県外大学生のフィールドワークを誘致し、地元企業、市町村、キーパーソン等と連携して解決策を導く。
- ② 県中地域の地域資源を活用し、市町村、観光協会、観光施設等と連携して県内若年層の新たな出会いと繋がりの場を創出する。

〈アウトプット目標値〉

- ① 参加者：20人
- ② 参加者：80人

取組の内容

① 大学生と挑むコミュニティ・チャレンジ

広域的な地域課題に対し、地域振興に意欲のある**県外の大学生**等のフィールドワークを誘致。成果を地域へ還元するとともに、**若者のネットワークを活用**して関係人口の創出・拡大を図る。



② 若手社会人×地域資源 Link-up事業

県内の**若手社会人**を対象として、県中地域の**地域資源の魅力**を体験し、**業種を超えた出会い**を創出。社会減対策及び自然減対策に加え、**新たな企業間連携**による地域産業の活性化を図る。

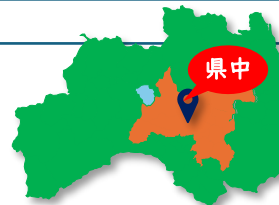


取組のポイント

- 1 若者が地域の課題と魅力を知る
- 2 県外大学生との新たな関係づくり
- 3 若手社会人の新たな交流

当事業で目指す姿

人・産業・交通の中心となる県中地域の優位性と、自然・文化の豊富な地域資源を活かし、県内外の若者に対して、地域の「課題」と「魅力」を知り、体感する機会を創出することで、地域と県外若年層の深く継続的な関係づくりや、県内若年層の定着を促進する。



5. 【県南】来て、関わって、働いて、しらかわ事業

しらかわ地域に特化した転職サイト しらかわ地域で、あなたに「あった!求人」がきっと見つかる。

予算額 (13,457千円)

県南地域の課題

- ・ 県南地域は首都圏へ距離的に近くアクセスに恵まれているが、県外への人口流出が続いている。
- ・ 県外への人口流出に伴い、地域の基幹産業である製造業や農業を含む地域産業の人手不足が顕在化している。

新規 **一部新規**・継続
ひと・暮らし・**しごと**・人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

「しらかわ地域に特化した転職サイト」を軸に、転職・仕事を切り口とした「移住促進」と、滞在型の短期就業を通じた「関係人口の創出」を一体的に展開。情報発信に加え、会社訪問や仕事体験などの“リアルな体験”を重視し、段階的に地域との関わりを深める。

アウトプット目標値
採用に関するマッチング支援件数
60件以上

取組の内容

①首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業 (10,121千円)

「しらかわ地域に特化した転職サイト」による情報発信と首都圏向け広報、企業説明会の実施に加え、首都圏の大学生等を対象に、会社訪問と地域体験を組み合わせたツアーを実施することで、「転職・仕事」を契機とした移住を促進する。



(しらかわ地域に特化した転職サイト)

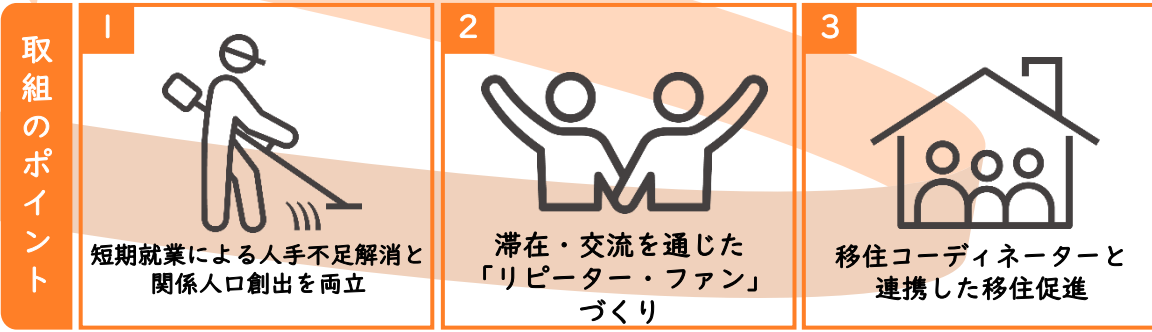
②しらかわならではの関わりびと創出事業 (3,336千円)

地方に関心のある方と人手不足の課題を抱える事業者をマッチングし、滞在型の短期就業を通して、県南地域のファンづくりと継続的な関係人口の創出を図る。



(カフェでのお手伝い) (農業(果樹)のお手伝い)

相互の取組が連動し、好循環の形成を目指す



当事業で目指す姿

- ① 移住希望者や進学・就職を機に地元を離れた方に対し、県南地域の企業や暮らしの魅力を発信することで、県南地域への就職や移住を推進する。
- ② 首都圏の若者等が地域の仕事をお手伝いしながら地域や事業者と関わることで、関係人口を創出し地域産業の人手不足解消を目指す。



県南地域の課題

新規 一部新規・継続

ひと暮らし・しごと・人の流れ

- ・ 県南地域は首都圏へ距離的に近くアクセスに恵まれているが、県外への人口流出が続いており、地域産業の人手不足が顕在化している。
- ・ 県南地域の企業や地域としての魅力が子どもたちに十分に伝わっていない。

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

- ・ 地域づくり活動をする方々が、中学生、高校生や若者とのワークショップを通して県南地域の魅力や課題を把握し、魅力発信や課題解決に向けたアイデアを事業構築にいかす（サポート事業、県・市町村事業など）。
- ・ 小中高校生が仕事体験、企業訪問を通して、企業の魅力を体感するとともに、企業側も自社の魅力を発信して将来の採用につなげる。

〈アウトプット目標値〉
仕事体験、企業訪問の参加人数
80人以上

取組の内容

取組名 しらかわプライド醸成事業

1 (新) ワークショップ等の開催

- ・ 県南地域の中高校生や企業の若手社員、地域づくり活動をする方等を対象に県南地域の魅力や課題をテーマとしたワークショップやフィールドワークを開催。



2 (新) 地元企業のおしごと体験ツアー

- ・ 小中学生を対象に県南地域の企業（農業を含む）の魅力を体感できる仕事体験ツアーの開催。



3 (新) 高校生の地元企業訪問

- ・ 高校生（普通高校も含む）が県南地域の企業（農業を含む）を訪問し、企業の魅力や県南地域で働くことの魅力を体感できる取組の開催。



取組のポイント

1

子どもや若者の意見を事業構築の参考にする



2

小中学生が県南地域の魅力を体感できる仕事体験、コンテンツを実施



3

Uターンした若手社員との座談会を実施



当事業で目指す姿

- ・ 県南地域の子どもが地域の魅力を実感することで、**地元愛=しらかわプライドを醸成する。**
- ・ 子どもの時に県南地域の企業の魅力を知ること、高校卒業時点のみならず、**首都圏の大学等に進学後も県南地域にUターンして就職することを選択肢の1つにする。**



会津地域の課題

- ・若年層の流出が顕著。(15~19歳の5年後の流出率 会津△32%・県全体△21%)
- ・高校生の県内留保率が県内で最も低い。(会津・南会津 70.3%・県全体 81.7%)

新規 一部新規・継続

ひと暮らし・しごと 人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

高校生(保護者を含む)から大学生まで切れ目なく対象とし、進路段階に応じて、高校生にはインターンシップ、大学生等にはオンライン交流会や相談窓口設置など使い分けながら、企業情報の発信に留まらない一貫した支援を実施。

<アウトプット目標値>

インターン参加者：100人
オンライン交流会参加者数：40人

取組の内容

取組名：若者×企業キャリアリンク事業

若者が地元企業を「知る・体験する・つながる」機会を創出する。高校生向けには企業情報の発信に加えて、新たにインターンシップ事業を実施する。首都圏や隣県の大学生等に対しては、企業とのオンライン交流や常時対応可能な相談窓口によるアフターフォローまで一貫した支援を行い、高校生の地元定着や大学生等のUIJターンにつなげていく。

高校

大学等



インターンシップ



オンライン交流
イベント



常時対応可能な
相談窓口

取組のポイント

- ① 若者の進路段階に応じた切れ目のない取組
- ② 情報提供にとどまらない体験・交流重視の取組
- ③ 常時相談可能な窓口による継続的な伴走支援

当事業で目指す姿

若者が管内企業への理解を深めることで、地元就職やUIJターンが促進され、若年層の社会減の抑制につなげていきたい。



会津



8. 【会津】ゆるっとめぐり会津プロジェクト

予算額 (3,000千円)

会津地域の課題

- ・若年女性の人口減少率が県内平均を上回る。(会津 $\Delta 57.44\%$ ・県全体 $\Delta 57.15\%$)
- ・未婚理由として「異性と出会う機会がない(19.8%)」との声も多く、出会いの場の不足が課題。

新規・一部新規・継続

ひと暮らし・しごと・人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

会津の強みを生かしたイベントを実施しながら、女性参加者の募集や婚活イベント後のアフターフォローなど、イベント前後で結婚世話焼き人や民間結婚相談所等と連携し、成婚まで一連のサポート体制を構築する。

〈アウトプット目標値〉
マッチング数：20組

取組の内容

取組名：ゆるっとめぐり会津プロジェクト

20～40代を対象に、会津らしいコンテンツをいかしながら、参加しやすい男女の出会いの場を創出する。なお、周知広報面においては、南会津管内も含めた17市町村と連携しながら実施する。また、世話焼き人や民間の結婚相談所等と、周知広報からイベント後のアフターフォローまでを連携することで、成婚に至るまでの継続的な支援を行う。

<事業実施イメージ>

只見線貸切列車を活用したイベント



猪苗代スキー場でのBBQ



取組のポイント

- 1 会津らしいテーマで参加しやすいイベント内容
- 2 南会津含めた17市町村と連携した周知広報
- 3 イベント前後における結婚世話焼き人や民間の結婚相談所等との連携

当事業で目指す姿

会津管内において、20～40代男女の出会いの場を創出することで、婚姻率上昇につなげたい。

会津



会津地域の課題

新規 一部新規・継続

ひと暮らし
しごと・人の流れ

生産年齢人口の減少によって、デジタル技術による効率化が急務となっているが、取組については、自治体によりバラツキが生じている。なかでも会津地方では自治体の人材確保も厳しさを増すなかで、行政サービス維持のためには効率化が不可欠となる。

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

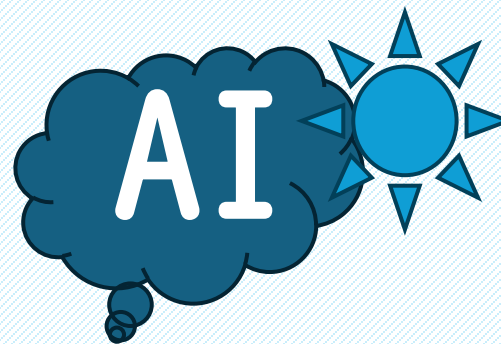
〈アウトプット目標値〉
地域のデジタル変革（DX）による
新しい価値の創出数： 4件

会津地域のDX人材や技術といった「宝」を活用し、人口減少に対応した自治体DXモデルを構築する。会津地域13市町村と県で構成する連携会議が中心となり、各首長の理解を得ながら、検討・調整を進め、地域課題の解決を図る。

取組の内容

取組名 地域課題の解決・実装

生産年齢人口の減少による課題解決を図るため、会津大学やAiCTと連携し、地域資源を最大限活用した事業を推進する。学生による課題解決の実装支援や専門人材の配置、スマートシティサービスの広域展開を柱に据え、AI活用や研修を通じた業務効率化とあわせ、持続可能な地域社会を構築する。



取組のポイント

- ① 大学の知見を現場の実装まで繋ぐ伴走支援
- ② 高度なサービスを低コストで広域展開
- ③ 地域の課題を地域の資源で深く実装と人材育成の同時実現

当事業で目指す姿

自治体・大学・企業が連携し、若者の参画を通じて地域の課題解決を加速させることで、地域社会の持続を目指す。



南会津地域の課題

生産年齢人口の減少が深刻化するなど、会津地方では自治体の人材確保も厳しさを増しており、行政サービス維持のためには効率化が不可欠となる。

新規・一部新規 **継続**

ひと暮らし・
しごと・人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・**学**・**金**・労・言・士

若者や女性が地域に必要な取組を自ら発案・実践することでシビックプライドの醸成を図るとともに、町村等を巻き込んだ地域一体となった後押しによりアンコンシャス・バイアスに代表される定着阻害要因の解消につなげる。

〈アウトプット目標値〉
事業提案数 : 3件

取組の内容

取組名 南会津「ワカモノ」ピッチ

南会津地域の**若者や女性**が考える「人口減少対策」や「若者・女性の定着（活躍）」に係る取組を募集し、町村長や振興局長等が審査員となって**ピッチイベント**を開催。



採択された優秀案は県と発案者が委託契約を締結して**事業化**し、**若者や女性の発案と実践**により、地域への新たな価値観の浸透及び定着・還流の促進を図る。



取組のポイント

- ① 若者や女性ならではの視点
- ② 地域との共創によるブラッシュアップ
- ③ アイデアをカタチにする仕組み

当事業で目指す姿

若者や女性が自分らしく活躍できる土壌が育まれ、住み続けたいと思える持続可能な地域を自ら作り上げていく。



南会津地域の課題

全国20～30代女性の南会津地域の認知度は12.0%（参考値：会津地域37.4%）と低く、関係性形成のきっかけが生まれにくい。また、南会津地域は有効求人倍率が1.45倍と県平均1.26倍を上回り、観光・農林・建設業など全般的に深刻な人手不足が続いている。

新規 **一部新規** 継続

ひと・暮らし・しごと **人の流れ**

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

行政・企業・地域住民が共創し、店舗、宿泊施設、自然や催事などの情報を検索プラットフォームに盛り込むとともに、ワーキングホリデーでは南会津ならではの体験プログラムを組み込むことで、参加者の満足度及び地域への関心度を向上させる。

〈アウトプット目標値〉

動画再生回数：延べ500,000回以上
本事業による関係人口創出数：延べ20人

取組の内容

交流人口・関係人口の拡大

- 南会津のアクティビティと宿泊を組み合わせたモデルコースの造成や、SEO（検索エンジン最適化）対策により、検索結果での上位表示及び認知度の向上を図る。
- アウトドア系媒体での発信やドローン空撮コンテスト、空からの記念撮影などの新鮮な体験により、南会津のディープな情報を発信し、誘客につなげる。
- 「ふるさとワーキングホリデー」を活用し、地域づくりの担い手との交流や伝統行事などの体験を提供することにより、若年層の関係人口創出と人手不足解消を目指す。



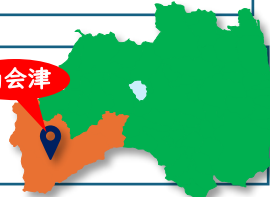
取組のポイント

- 1 SEO対策による表示機会の強化
- 2 新しい価値を感じられる体験
- 3 生活体験を通じた地域理解の醸成

当事業で目指す姿

若い世代の南会津地域への認知度や関心度を向上させ、交流人口・関係人口を拡大させるとともに、将来における地域づくりの担い手の裾野を増やす。

南会津



南会津地域の課題

新規・**一部新規**・継続

ひと・暮らし・**暮らし**・
しごと・人の流れ

若年女性の流出率が44.4%に達するなど、人口流出によりあらゆる分野の担い手が不足する中、事業の効率化や地域課題の解決に向けたカギとなるドローンの活用について、民間スクールがないことが障壁となっている。

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

- 県が廃校（ドローン寒冷地テストフィールド）を活用し、地域住民等をドローン操縦士として育成。
- 住民が地域内で活躍しながら事業効率化、地域課題解決、交流の促進を目指す。

〈アウトプット目標値〉

受講者数：20人
国家ライセンス取得：2人

取組の内容

ドローンスクール

- ☑ 県がドローンスクール事業を実施し、操縦士を育成。
- ☑ 国家ライセンス取得コースやドローングラファーマ入門コース、屋外実践飛行訓練の新設で操縦士がシンカ。
- ☑ 修了生をネットワーク化し、地域づくりの担い手集団を育成。



利活用促進事業

- ☑ 修了生が運営に参画するドローンショーの開催等により操縦士が活躍する機会を設けつつドローン利活用に対する地域の理解を醸成。



広域連携会議

- ☑ ドローンの利活用や安全対策について関係機関が広域調整。
- ☑ ドローンの更なる活用に向けた官民連携の組織設置を目指す。



取組のポイント

- 1 地域の人材育成
- 2 ドローン活用への理解醸成
- 3 官民連携でのドローン活用促進

当事業で目指す姿

ドローン活用の先進地として住民が地域内で活躍し、誇りをもって働き続ける環境づくり。

南会津



相双地域の課題

新規・**一部新規** 継続

ひと・暮らし・しごと **人の流れ**

住民避難の長期化や居住人口の減少による地域活力の低下や担い手不足、さらに観光客数の回復の遅れや根強い風評被害による地域経済への影響といった課題を解決するためには、帰還促進に加え、移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大が不可欠である。

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

相双地域ならではの伝統文化、自然・アウトドア、里山といった多様な地域資源を掛け合わせ、管内の市町村や民間企業と連携しながら、地域の魅力体験・発信を通じて、他の地域にはない魅力創出と交流人口拡大を図っていく。

〈アウトプット目標値〉
 ・野馬追魅力体験、新しい旅モデルプラン
 参加者満足度割合（アンケート）：90%
 ・スタンプラリーで実施予定のアンケート調査で、「あぶくまロマンチック街道にまた来たい」と回答する割合が80%以上

取組の内容

① 「相馬野馬追」魅力体験交流事業

相馬野馬追の歴史と体験を通じて魅力を伝え、人と馬が共に暮らす町で侍・馬事文化を継承する地域住民との交流を図り、相双地域への誘客を促進する。



取組のポイント

1 野馬追の歴史・文化・魅力体験

② 「相双地域の新しい旅」モデルプラン創造事業 プラス

新たな旅のスタイルを提案し、相双地域ならではのアウトドアコンテンツの体験を通じて新しい旅の魅力を発信するとともに、地域住民との交流を通じて地域との関わりを促進する。



2 相双で体験する新スタイルの旅

③ 「あぶくまロマンチック街道」沿線地域魅力発信強化事業

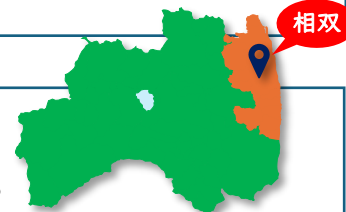
あぶくま街道を「見て、触れて、味わう」をテーマとしたメディア(テレビ等)発信や、それと連動した周遊促進により、県内他地域からの一層の誘客を促進する。



3 あぶくまを「見て、触れて、味わう」周遊の旅

当事業で目指す姿

相双の地域資源を活用した魅力体験や地域住民との交流、あぶくまロマンチック街道沿線の里山地域の魅力発信、周遊促進を通じて、地域への来訪の機会を促し、交流人口の拡大を図るとともに継続的な関わりを促進する。



相双地域の課題

- ・若年層の多くが進学や就職をきっかけに県外へ流出しており、相双地域の振興を担う人材が不足している。
- ・企業訪問を実施した際に、強い人手不足感を管内企業より寄せられており、地域内で働く人材の確保を図っていく必要がある。

新規 **一部新規** 継続

ひと・暮らし・**しごと** 人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

管内の市町村や民間企業等と連携し、相双地域の仕事の魅力等を若い世代に発信することで、相双地域で働くことへの関心を喚起するきっかけを創出する。

〈アウトプット目標値〉

- ①「相双企業セミナーを通して相双地域で働くこと、暮らすことへの興味が高まった」と回答した割合：90%
- ②地元企業紹介イベントに参加し「相双地域の会社や仕事への興味が増した」と回答した割合：73%

取組の内容

① 県内大学生向け相双企業セミナー

県内の大学生等を対象に、相双地域で就業している方を講師としたセミナーや、相双地域を実際に訪問し企業見学等を行う地域体験プログラムを実施し、就職先の候補として相双地域への興味・関心を喚起することで、地域内で働く人材の確保を図る。



セミナー イメージ



地域体験プログラム イメージ

② 管内高校生向け地元企業紹介イベント

相双管内の高校1年生を主な対象に、地元企業の紹介や仕事内容の体験を行うイベントを実施し、地元企業の魅力を分かりやすく伝えることで興味を持つきっかけをつくり、相双管内への就職促進を図る。



地元企業紹介イベント イメージ



取組のポイント

- ① 相双地域の仕事の魅力等の発信
- ② 体験を通じた情報発信
- ③ 若い世代への包括的な情報発信

【相双地方振興局が実施する関連事業】

- ① Out of KidZania in ふくしま相双 (小・中学生等対象)
- ② 移住促進セミナー (県外在住の20～30代の若年層等対象)

当事業で目指す姿

県内大学生及び管内高校生に対し相双地域の仕事等の魅力を発信することで、関連事業と併せて若い世代への包括的な情報発信を行い、相双管内への就職・若者の域内定着を促進する。



いわき地域の課題

- ・市外への転出超過が顕著であり、特に女性の流出が多い。また、男女ともに関東圏へ転出する傾向が高い。
- ・新規高卒者 (R8.3月卒) の県内就職率は県平均を下回っており、県外企業へ就職する若者が多い。

新規・**一部新規**・継続

ひと暮らし・しごと・人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

〈アウトプット目標値〉
 ・Instagram動画再生回数
 ⇒ 1投稿あたり13,000回以上
 ・情報発信セミナー参加企業数
 ⇒ 20社・団体以上

単なる情報発信にとどまらず、若者・女性の視点を取り入れた企業の魅力発信に加え、市内企業との直接対話・交流を組み合わせて実施することにより、若者・女性の市内企業に対する興味・関心を高める。

取組の内容

取組名 ①Instagram動画による市内企業の魅力発信

市内企業の様々な魅力ややりがい、社内の雰囲気などを若者・女性の視点で伝えるSNS動画を作成・発信する。



取組名 ②若者・女性と市内企業の交流会の開催

若者・女性と市内企業が気軽に会話・交流できる機会を設け、①の動画内容の深掘りや、いわきで働く魅力等について意見交換を行う。



取組名 ③市内企業向け情報発信セミナーの開催 (新規)

市内企業を対象として、若者・女性に伝わる情報発信のノウハウを共有するセミナーを開催する。



取組のポイント

- 1 若者・女性視点での情報発信
- 2 交流創出による相互理解促進
- 3 市内企業の情報発信力向上

当事業で目指す姿

いわきの若者・女性に市内企業の魅力が「伝わる」ことにより、地元で働く若者・女性が増加する。



いわき地域の課題

- ・市外への転出超過が顕著であり、特に女性の流出が多い。また、男女ともに関東圏へ転出する傾向が高い。
- ・県内の他の地域より女性の就業率が低く、15～34歳までの全ての年代で県平均を下回っている。

新規 一部新規・継続

ひと・暮らし・しごと・人の流れ

連携・共創の視点及び取組の独自性

産・官・学・金・労・言・士

アンケート調査で市内企業の課題を把握し、市や商工会議所と連携しながら、課題に応じたきめ細やかな伴走支援やセミナーを実施することにより、地域全体で女性が働きやすい職場づくりを推進する。

〈アウトプット目標値〉

セミナー参加企業・団体数
⇒ 延べ50社・団体以上

取組の内容

① アンケート調査の実施

市内の企業及び従業員を対象として、女性の就業状況や女性活躍に関する取組状況と課題、職場の制度利用状況等について調査を行う。



② アドバイザーの派遣

アンケート調査で抽出された課題を踏まえ、専門知識やノウハウを有するアドバイザーを派遣し、課題解決を支援する。



③ セミナーの開催

幅広い視点で女性活躍を推進するセミナーを開催し、アドバイザー派遣の事例や先進的な取組等を市内企業に幅広く共有する。



取組のポイント

- 1 市内企業の実情や特性の把握
- 2 市内企業の課題解決支援
- 3 女性活躍推進に向けた意識醸成

当事業で目指す姿

市内企業に女性が働きやすい環境が整うことにより、市内で働く女性が増加する。

